

全国高校*

選抜大会

全国高校選抜大会は24日、各地で5競技が行われ、県勢はソフトボール女子の長崎商が準決勝で佐賀女に0-3で敗れたが、チーム過去最高の3位で大会を終えた。

長崎商は一回までに3点を先行され、そのまま逃げ切られた。三回から継投した後田が好投して、打線も三回の無死一、二塁をはじめ、何度も得点圏に走者を進めたが、ホ

ームベースが遠かった。

ハンドボール女子の佐世保商は1回戦で駿台甲府(山梨)に27-18で快勝して2回戦進出。空手団体男子の佐世保北は2回戦、女子の佐世保北、佐世保東翔は1回戦で姿を消した。

25日は各地でバドミントン、ハンドボール、ラグビーなど7競技を実施する。(城知哲 (成績は県勢と団体決勝)

ソフトボール

【女子】

▽準決勝

長崎商

0 0 0 0 0 0 0 0 X 0

佐賀女 (佐賀)

1 2 0 0 0 0 0 0 0 3 0

(長) 川瀬 後田 川瀬 一 松尾

▽決勝

佐賀女 (佐賀)

0 0 0 0 1 0 0 1 0 2 0 4

(習) 辻 椎場

(習) 馬場 一 斉藤

(佐賀女は初優勝)



【ソフトボール女子準決勝、長崎商-佐賀女】3回表長崎商2死一、二塁、安部が左前打を放つ
一柵木県大田原市美原運動公園野球場

佐賀女に惜敗 夏に雪辱を



ソフトボール女子で3位入賞した長崎商のメンバー

ソフトボール女子で初の4強入りを果たした長崎商の快進撃は、隣県の強豪校に止められた。今大会、無失点で頂点へ駆け上がった佐賀女の堅守を攻略できずに、無念の準決勝敗退。溝口監督の「あと一本が出なかった」という言葉に悔しさがにじんだ。

ロッカールーム

初回に失策絡みで1点を献上。一回は右越え2ランを許した。「ライズが甘く入った...」。先発のエース川瀬はこの回で降板。三回からは継投した後田が打たせて取る投球でアウトを積み重ね、六回途中から再登板した川瀬も「もう打たせない」と無失点で締めただけに、悔やまれる序盤の失

点になった。打線もつなかりを欠いた。三回無死一、二塁の好機をつくったが、相手投手の手元で伸びる速球にもう一步踏み込めなかった。やや泳がされるような形で2者連続フライアウト。2死から安部が左前に運んだが、好守に生還を阻まれた。3点差のまま迎えた最終回も同様だった。1死満塁と流れを呼び込んだが、後続が三振、中飛に倒れた。主将の4番小島は「打撃の技術を上げて、ここぞという時に頼れる打者になりたい」と悔しさを押し殺して前を向いた。

試合後の3位入賞の表彰。つむぐ選手たちに溝口監督が声を掛けた。「立派な成績。笑っていい。佐賀女にはインターハイで勝つぞ」。新たな歴史を刻んだ喜びと日本一の壁を肌で知った春。長崎商が真の強豪の仲間入りをした。



【ソフトボール女子準3回表】無失点と好投